

WebSAM System Navigator JNS isAdmin SNMP Trap連携設定手順書

NEC
2012年12月

目次

- 1 . はじめに
- 2 . ナレッジの格納
- 3 . WebSAM System Navigatorの初期設定
- 4 . トポロジビューの設定
- 5 . ビジネスビューの設定
- 6 . メッセージの表示

1. はじめに

本書は、JNS株式会社の「isAdmin」に対応した、WebSAM System Navigatorのナレッジ設定手順書です。WebSAM System Navigator起動後の初期設定から、実際に「isAdmin」のSNMPトラップ情報を受け、ナレッジ表示ができるようになるまでの手順を説明しています。

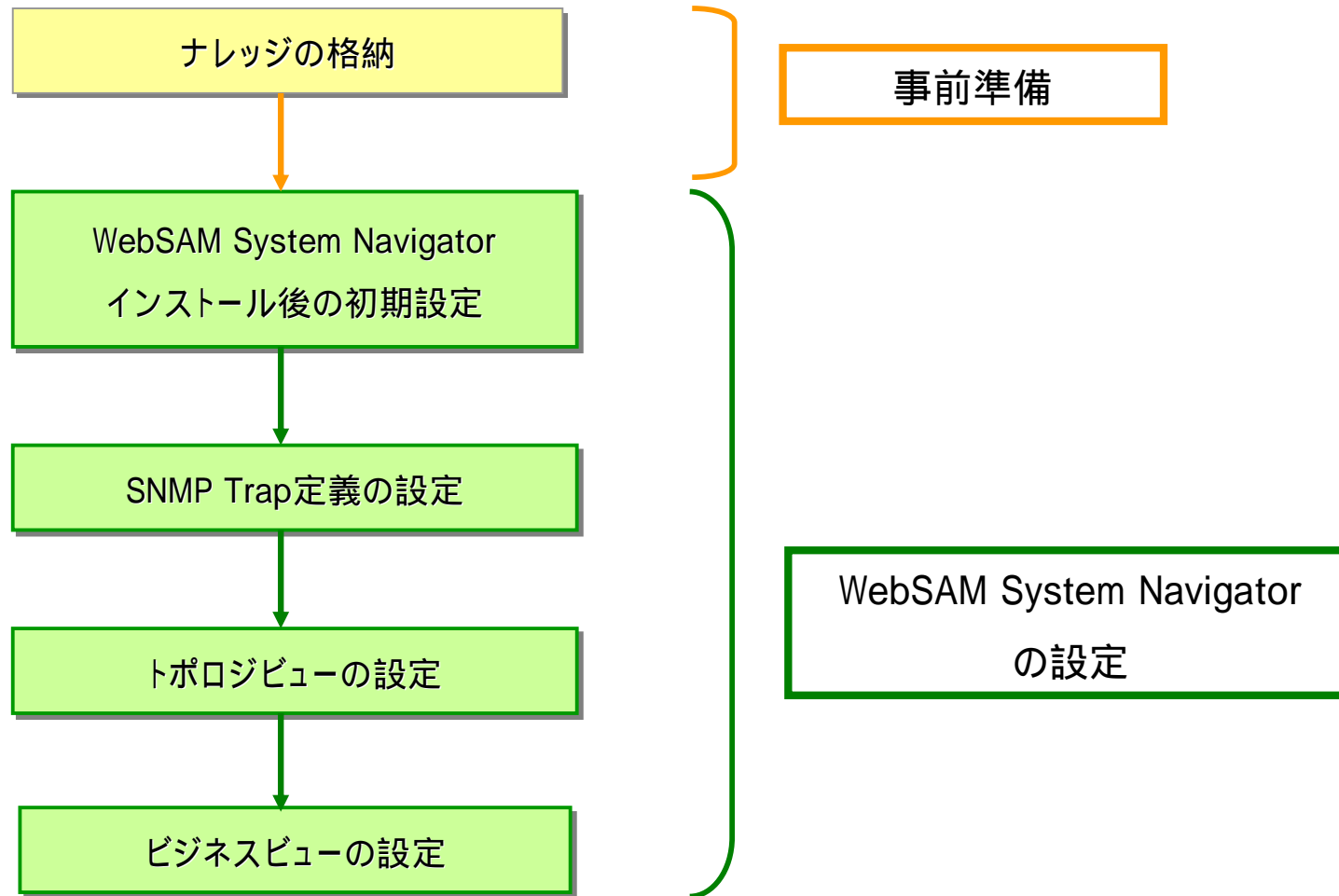
本連携は下記の製品に対応しております。

WebSAM System Navigator Ver3.1以降

必須オプション: SNMP受信トラップオプション

isAdmin Enterprise Ver2.5.3以降

1.1 連携設定手順



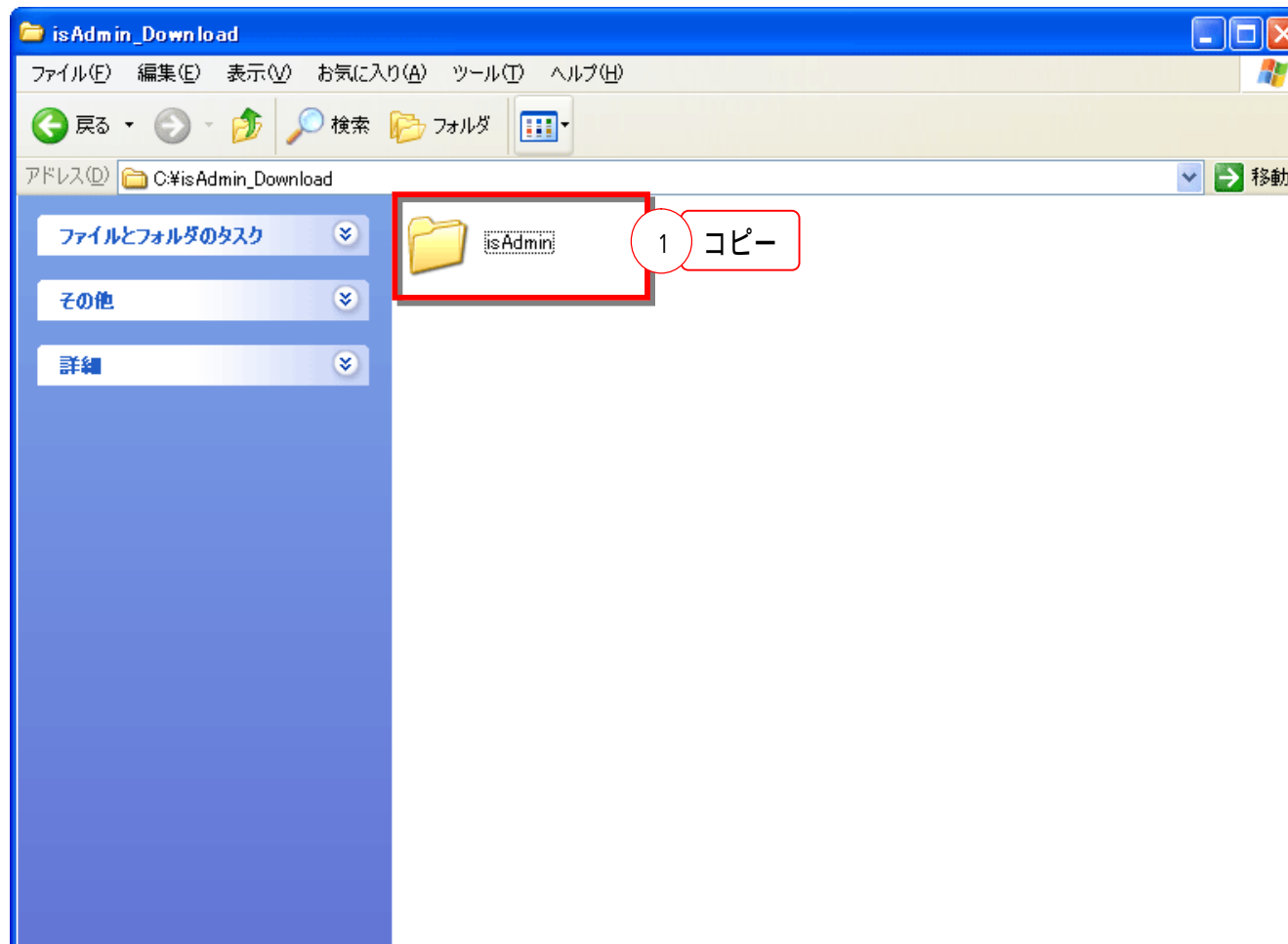
2. ナレッジの格納

「isAdmin監視用テンプレート」を格納するフォルダについて説明します。

デフォルトの状態では、isAdmin監視用テンプレートデータは「isAdmin」というフォルダ名です。

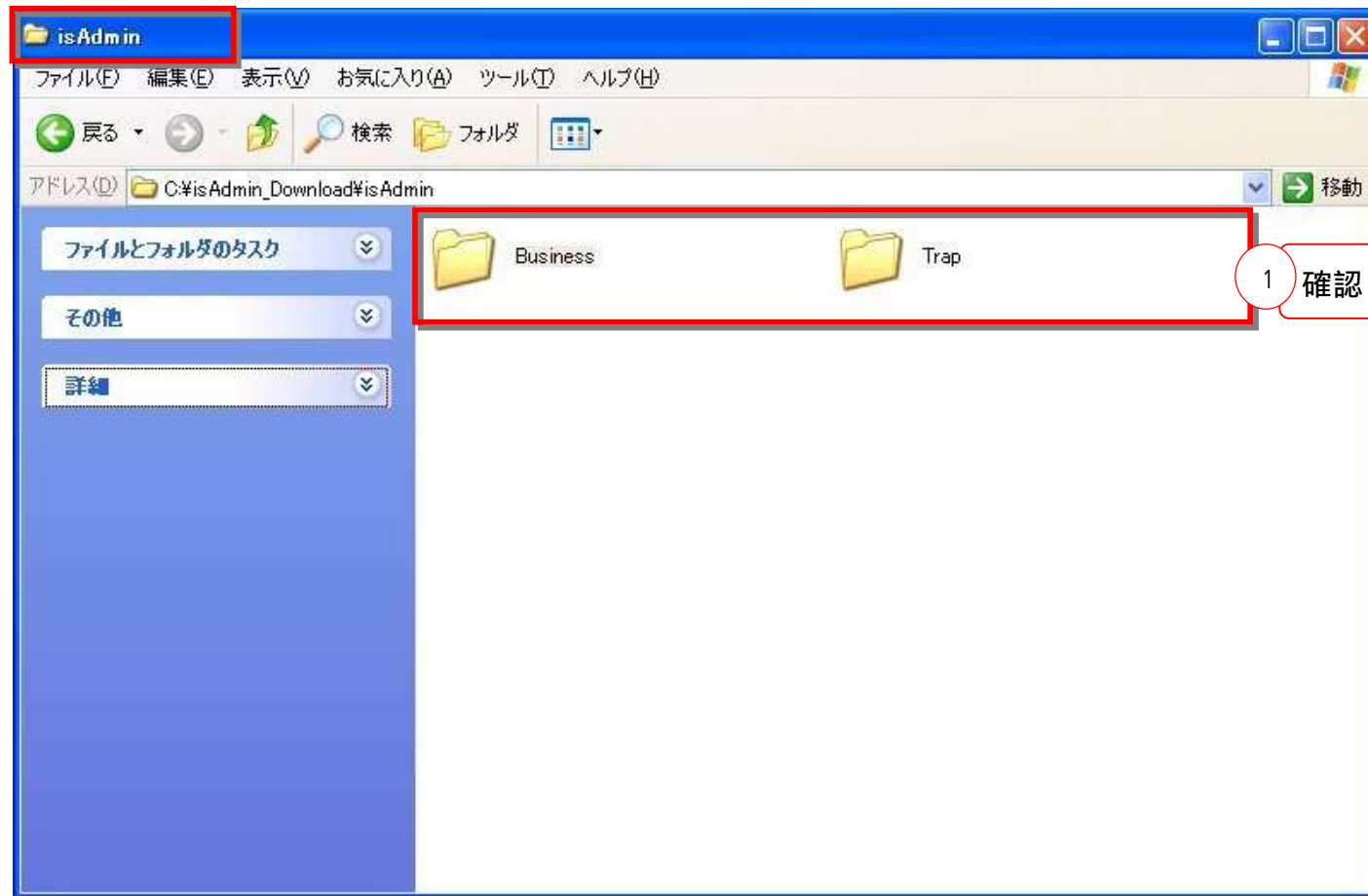
2.1 ナレッジの格納

「isAdmin監視用テンプレート」の「isAdmin」フォルダを、監視端末の任意の場所に展開する。



2.2 ナレッジの格納

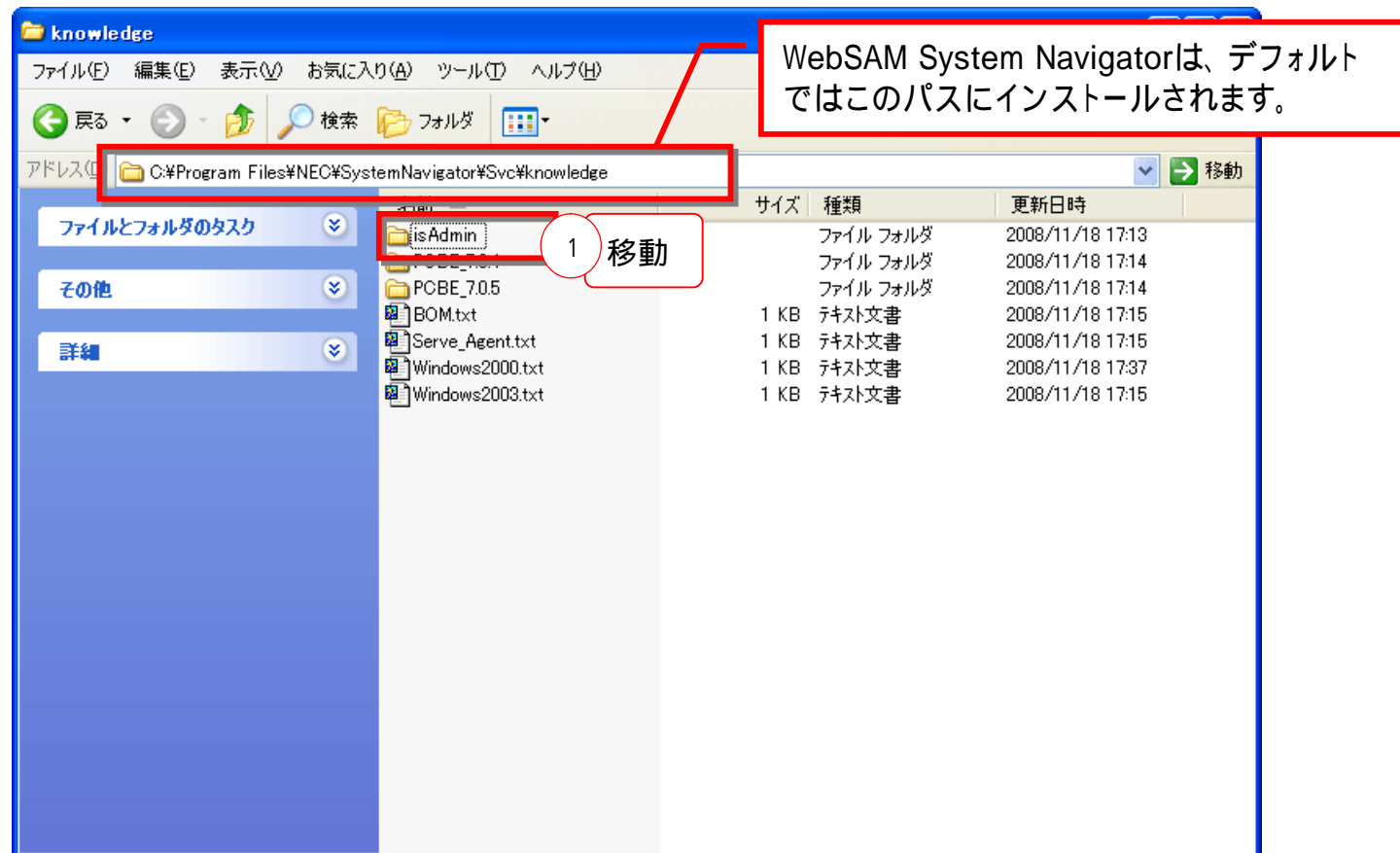
「isAdmin」フォルダ内に、「Business」、「Trap」、の2つのフォルダと本手順書が格納されていることを確認する。



2.3 ナレッジの格納

「isAdmin」フォルダを、インストールしたWebSAM System Navigatorの「Svc」 - 「knowledge」配下に移動する。

デフォルトの状態では、「C:¥Program Files¥NEC¥SystemNavigator¥Svc¥knowledge」配下である。



3 . WebSAM System Navigatorの初期設定

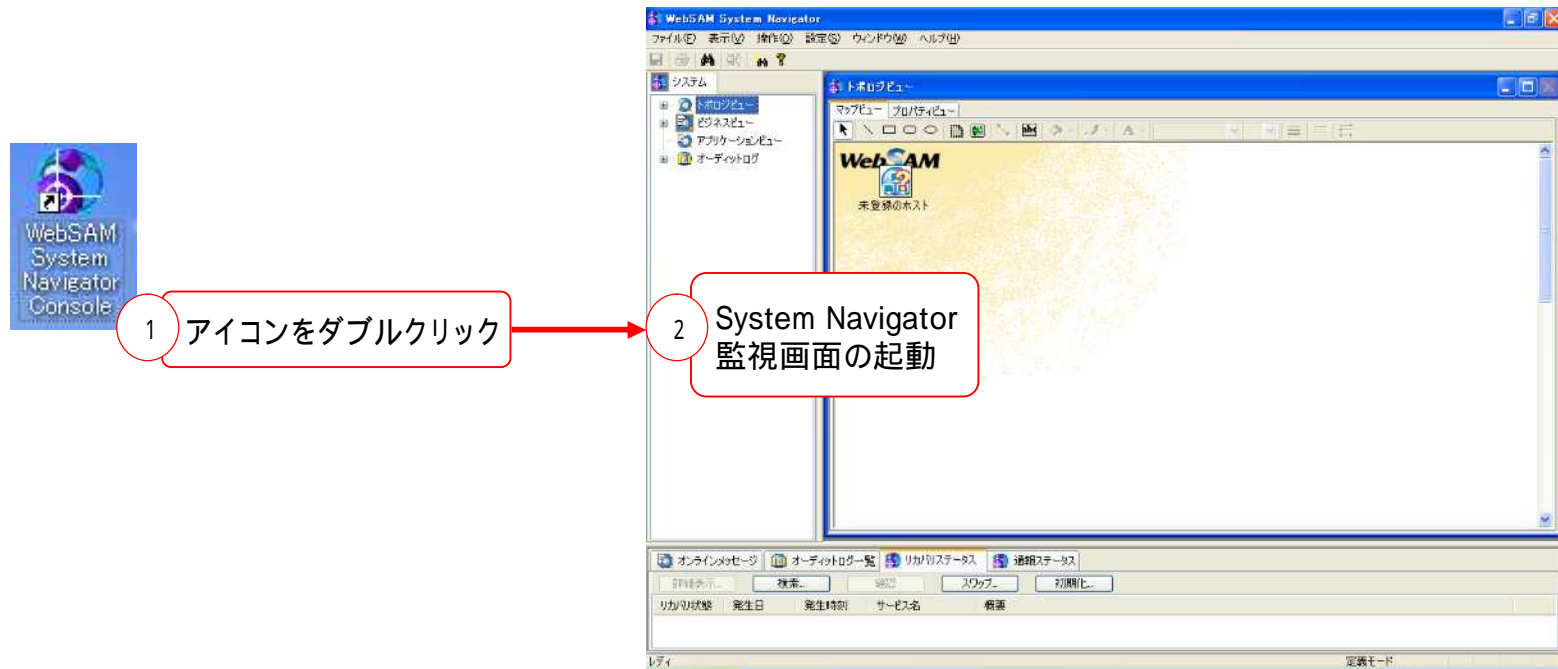
WebSAM System Navigator起動後の初期設定を行います。

初期状態では、WebSAM System Navigatorをインストールしたサーバ名が「不明のホスト」階層下に置かれてしまい、監視できないため、「不明のホスト」階層下より、通常階層へ移動することにより、監視可能な状態にします。

3.1 WebSAM System Navigatorの起動

■ デスクトップ上にあるWebSAM System Navigator Consoleのアイコンをダブルクリックし、WebSAM System Navigatorを起動する。

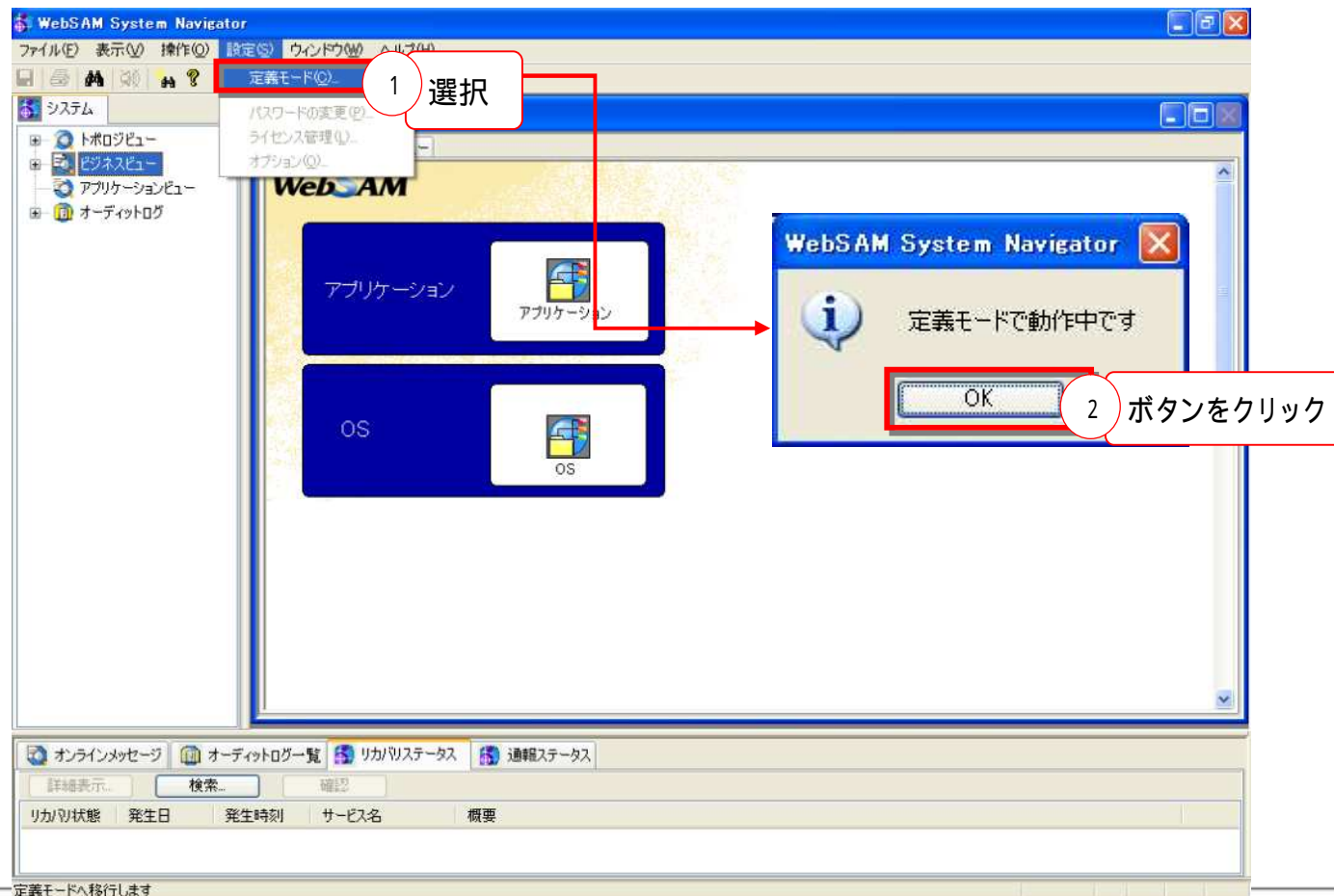
(または、「スタート」-「プログラム」-「WebSAM System Navigator」-「WebSAM System Navigator Console」からも起動できる。)



3.2 動作モード変更

監視画面で、メニューバーの「設定」-「定義モード」を選択して、動作モードを定義モードにする。確認画面が表示されるので、「OK」を押下する。

「定義モード」とは、WebSAM System Navigatorの監視定義を行うためのモードです。



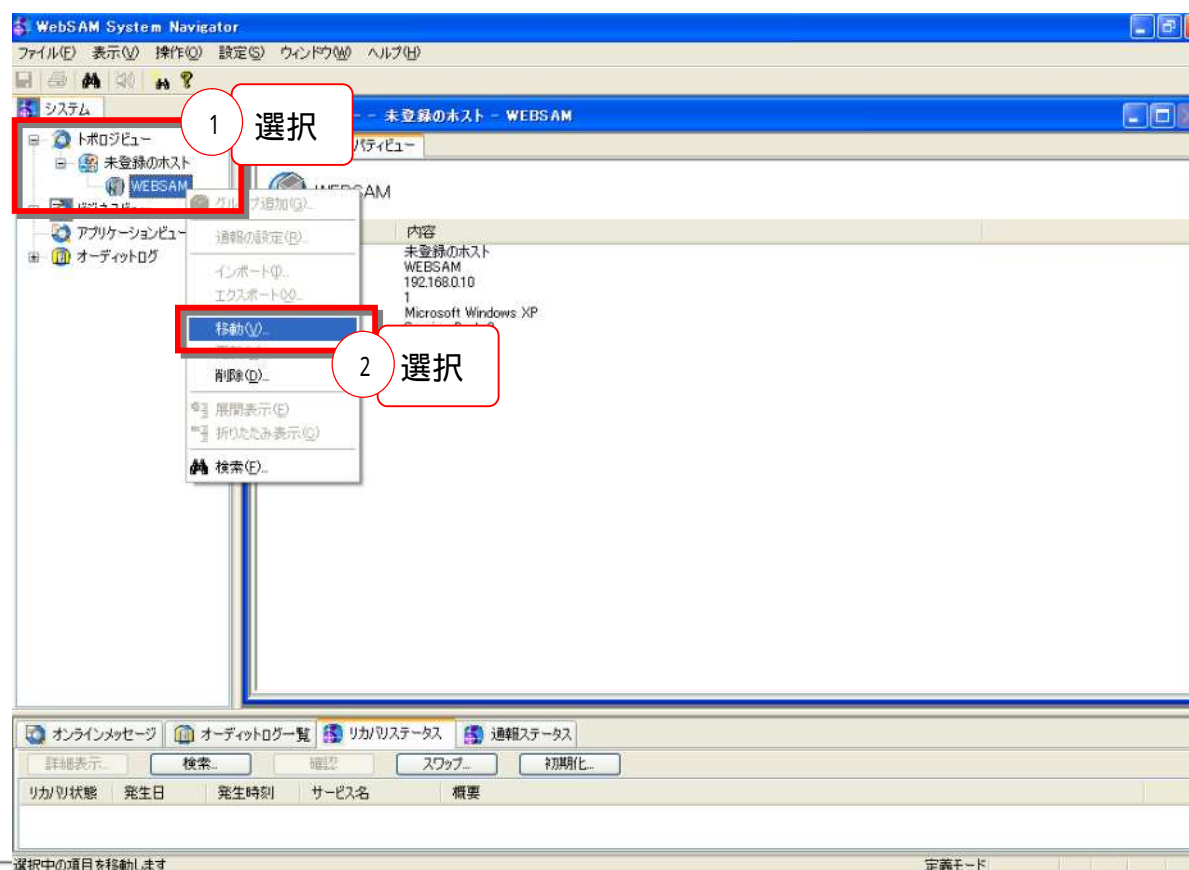
3.3 ホスト移動

「システム」内の「トポロジビュー」-「未登録のホスト」を選択する。

「未登録のホスト」階層下のサーバ名を右クリックし、「移動」を選択する。

「未登録のホスト」配下には、ネットワークにつながっているWebSAM System Navigator Agentがインストールされているサーバ名が表示されます。

「未登録のホスト」階層から移動させることで、登録されたホストとして認識されます。



3.4 ホスト移動

- 「移動」画面が表示されるので、「OK」を押下する。
(またはドラッグ&ドロップすることでも、移動できる。)
デフォルトで、「トポロジビュー」が選択されているので、「OK」を押下することで、一つ上の階層に移動する。
上記の作業を続けて、「未登録のホスト」内のサーバをすべて移動させる。

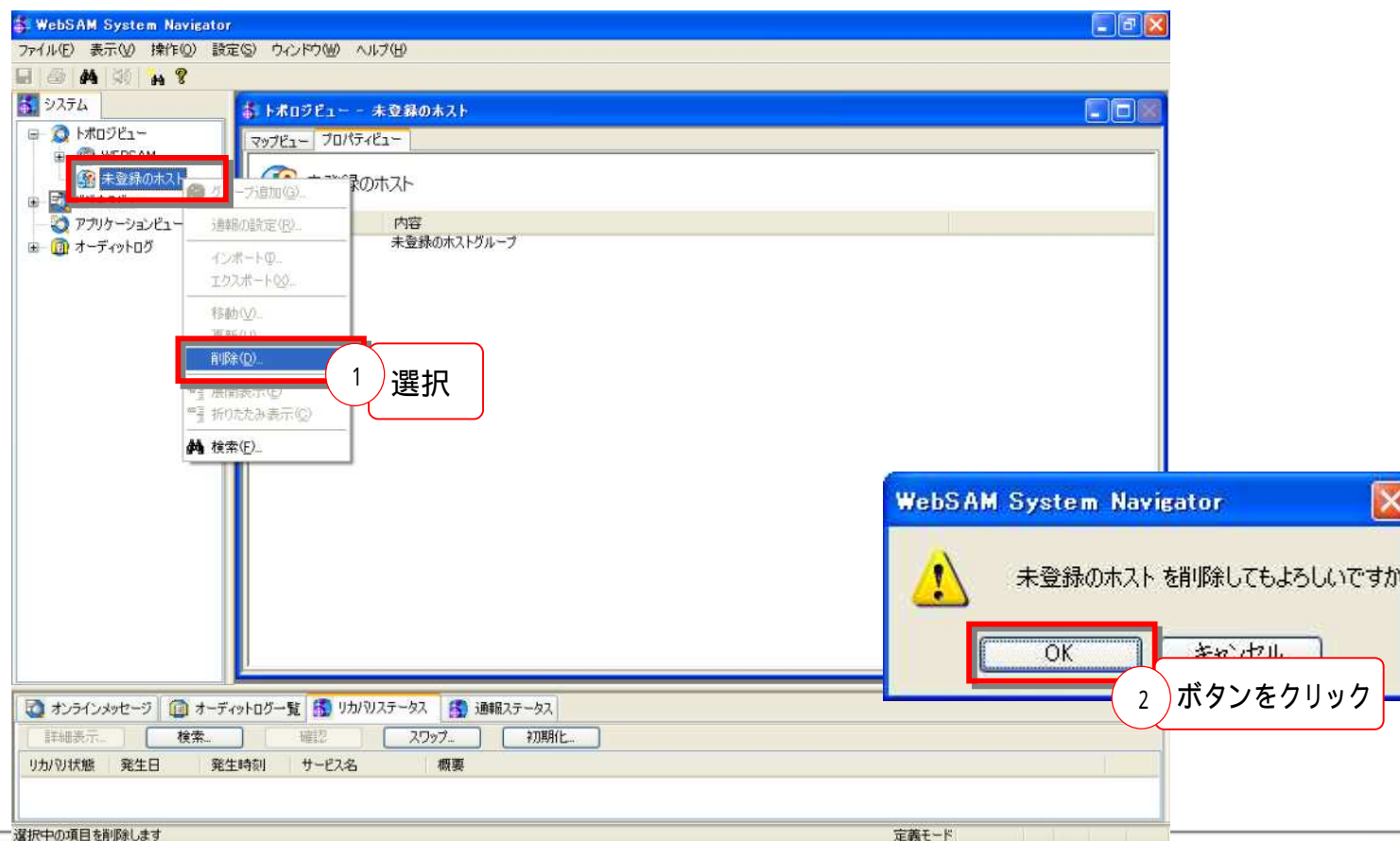


3.5 ホスト移動

「未登録のホスト」階層化に、ホストが存在しないことを確認し、「未登録のホスト」を右クリックし、「削除」を選択する。

確認画面が表示されるので、「OK」を押下する。

以上で、WebSAM System Navigatorの初期設定は終了です。



4 . トポロジビューの設定

WebSAM System Navigatorで、「isAdmin」から送信されるSNMP Trapを受信するための設定を行います。「2 . ナレッジの格納」の手順にて格納したファイルをインポートすることにより、設定完了となります。

設定が完了すると、「isAdmin」からのSNMP Trapを受信可能となり、異常時にアラートが上がるようになります。(SNMPバージョン V1、V2Cに対応しております)

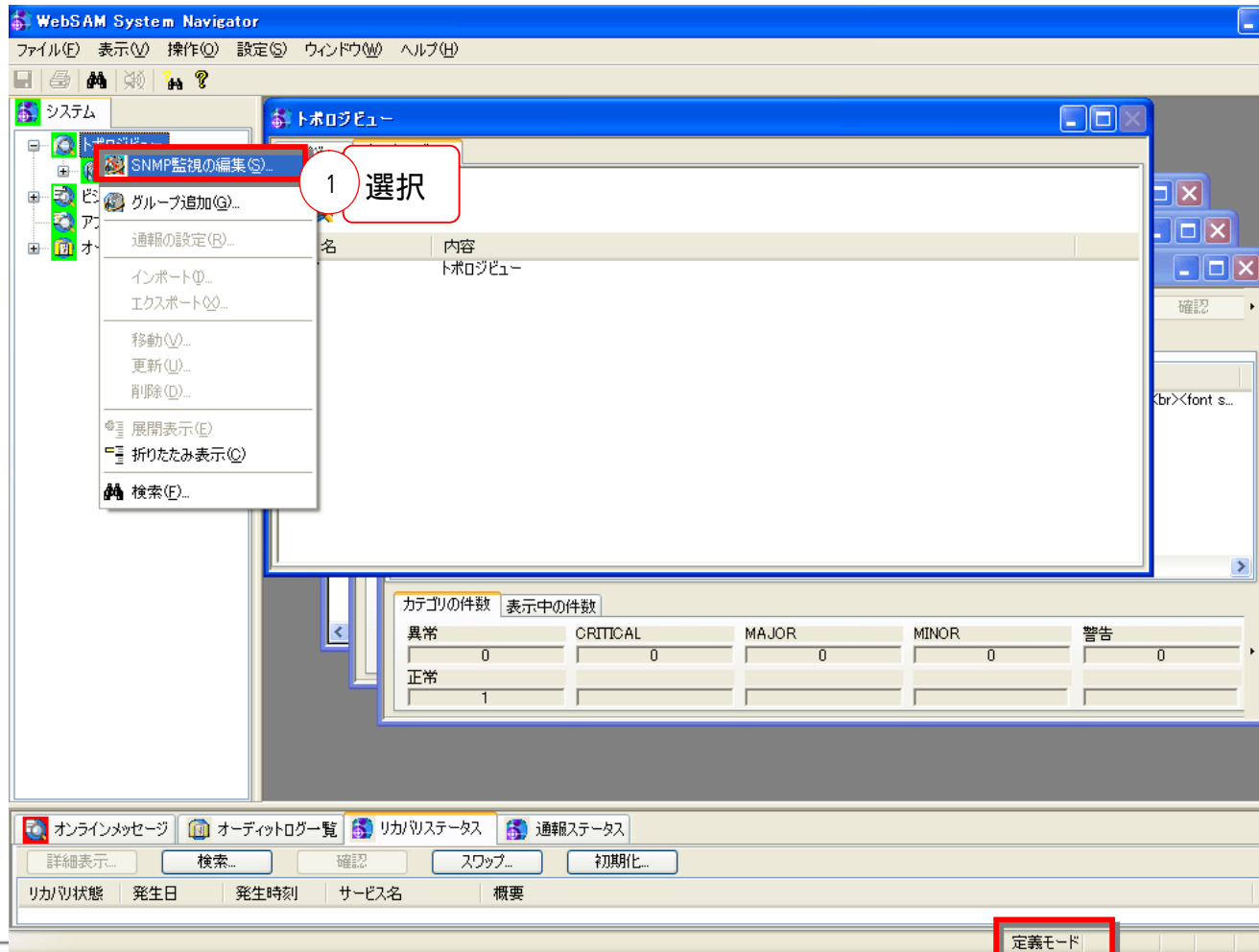
WebSAM System NavigatorのSNMPトラップ監視機能では、トラップの受信に別プロセスやサービスを使用しています。SNMPトラップ監視機能を使用する際には、事前にこれらのプロセスを起動しておく必要があります。詳細はWebSAM System Navigatorのヘルプ「[SNMPトラップ監視の事前準備を行う](#)」をご覧ください。

また「isAdmin」のプロセス監視(死活監視)を行いたい場合は本章後述の「(参考)プロセス監視」をご覧ください。

本章で紹介するプロセス監視の設定方法はすでにisAdminが導入しており、「起動中」であることを前提に記載してあります。もし、isAdminの導入前や起動前に設定を行いたい場合は別途WebSAM System Navigatorのヘルプ「[プロセスを監視する](#)」をご覧ください。

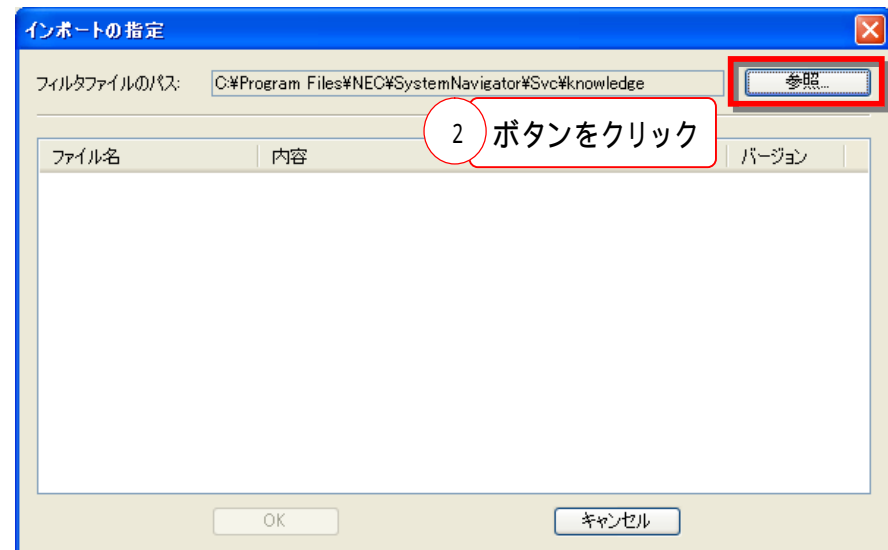
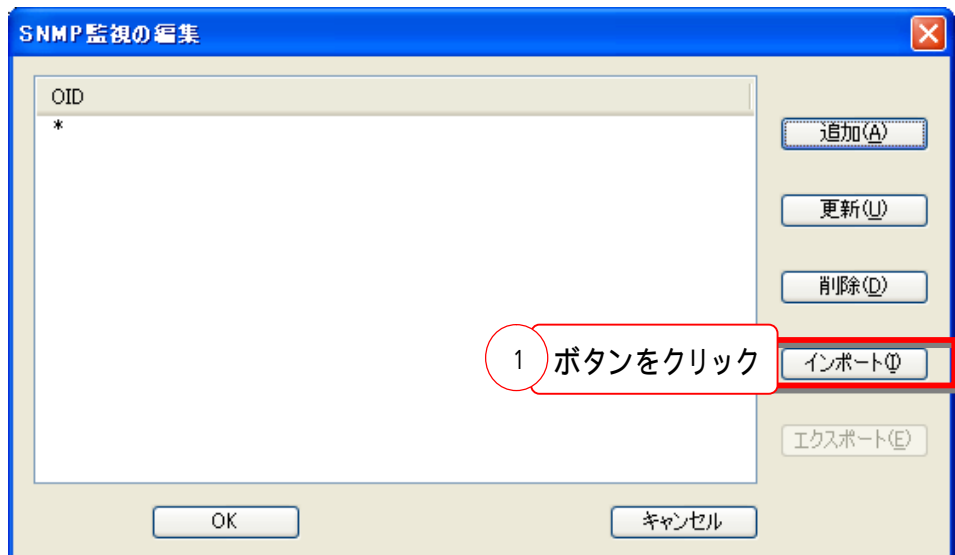
4.1 トポロジビューの設定

定義モードであることを確認後、「トポロジビュー」を右クリックし、「SNMP監視の編集」を選択する。



4.2 トポロジビューの設定

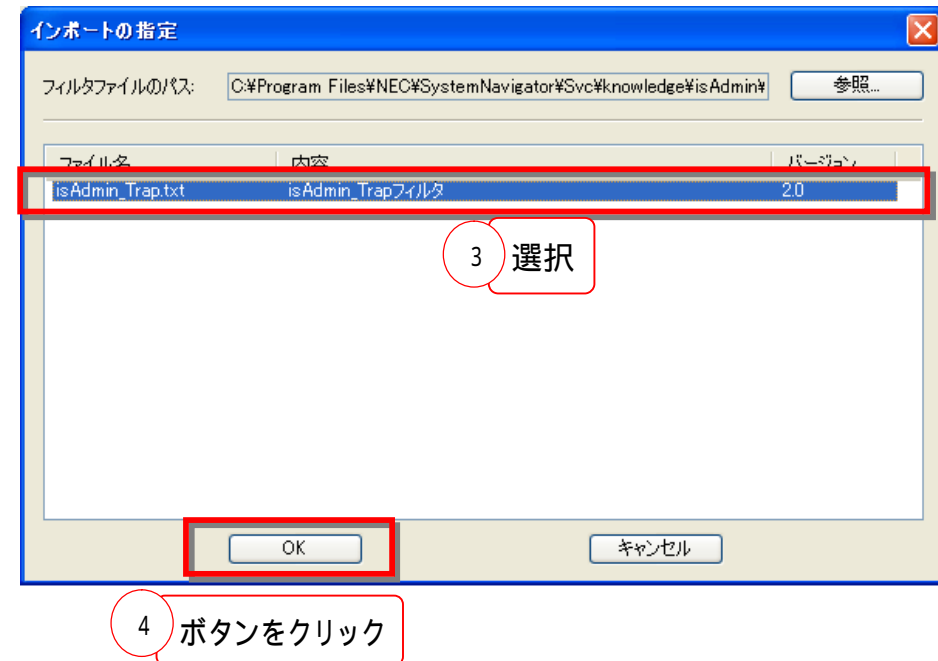
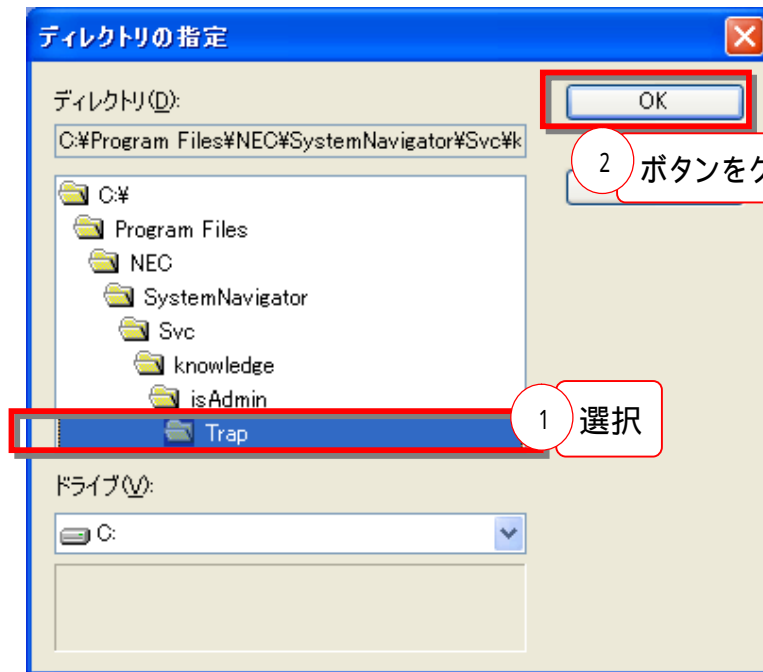
- 「SNMP監視の編集」画面が表示されるので、「インポート」を押下する。
次に「インポートの指定」画面が表示されるので、「参照」を押下する。



4.3 トポロジビューの設定

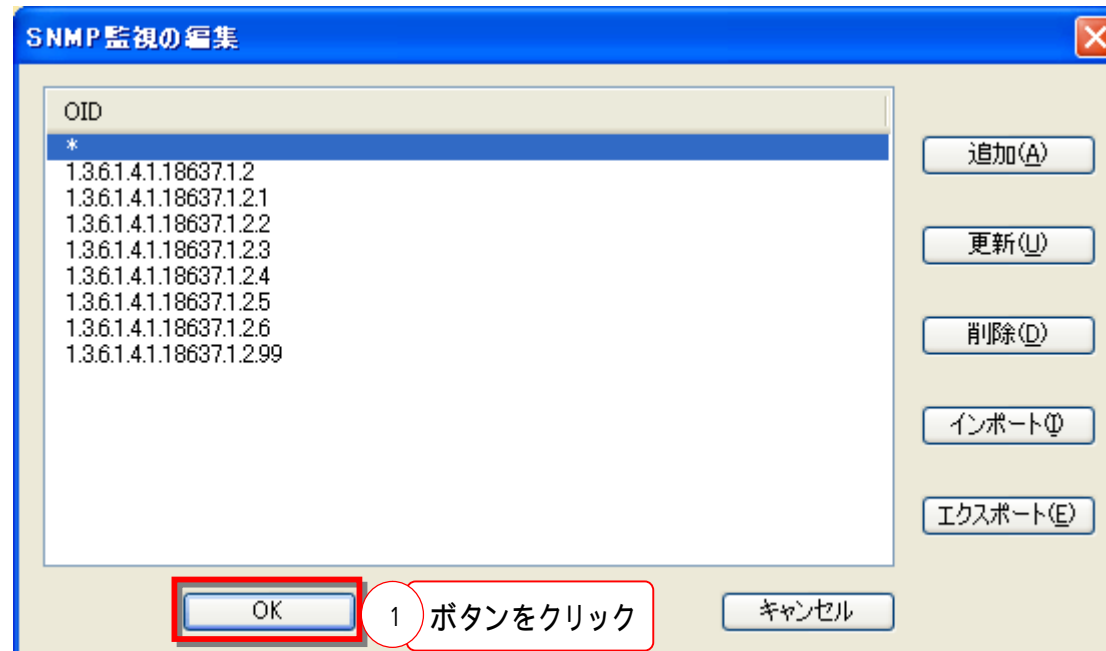
「ディレクトリの指定」画面が表示されるので、「2. ナレッジの格納」で格納した先の、「Trap」フォルダを選択し、「OK」を押下する。 デフォルトの状態では、「C:\Program Files\NEC\SystemNavigator\Svc\knowledge\isAdmin\Trap」

「インポートの指定」画面にテンプレートファイルが表示されているので、選択し「OK」を押下する。



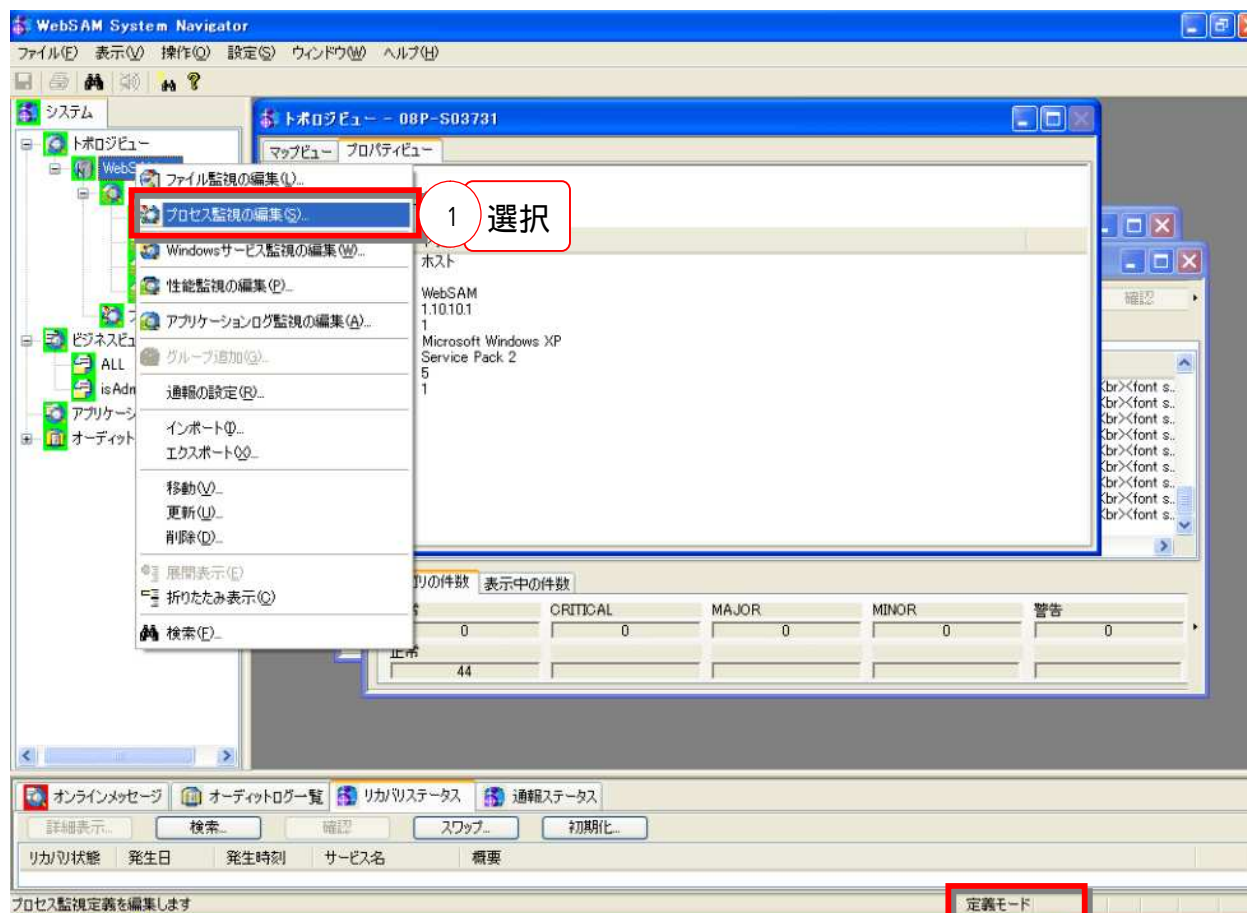
4.4 トポロジビューの設定

「SNMP監視の編集」画面に図のようにOIDが追加された事を確認し、「OK」を押下する。



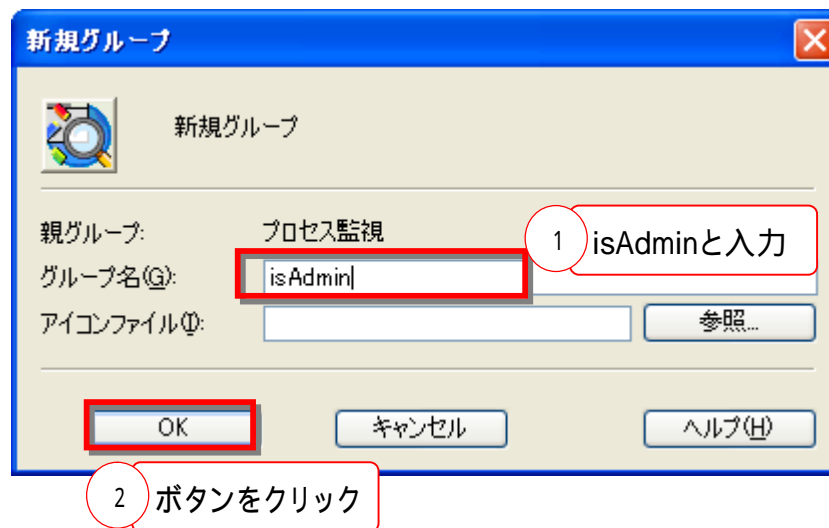
(参考). 1 プロセス監視

「定義モード」の状態では、トポロジーツリーより該当ノードを選択し右クリック。「プロセス監視の編集」を選択する。



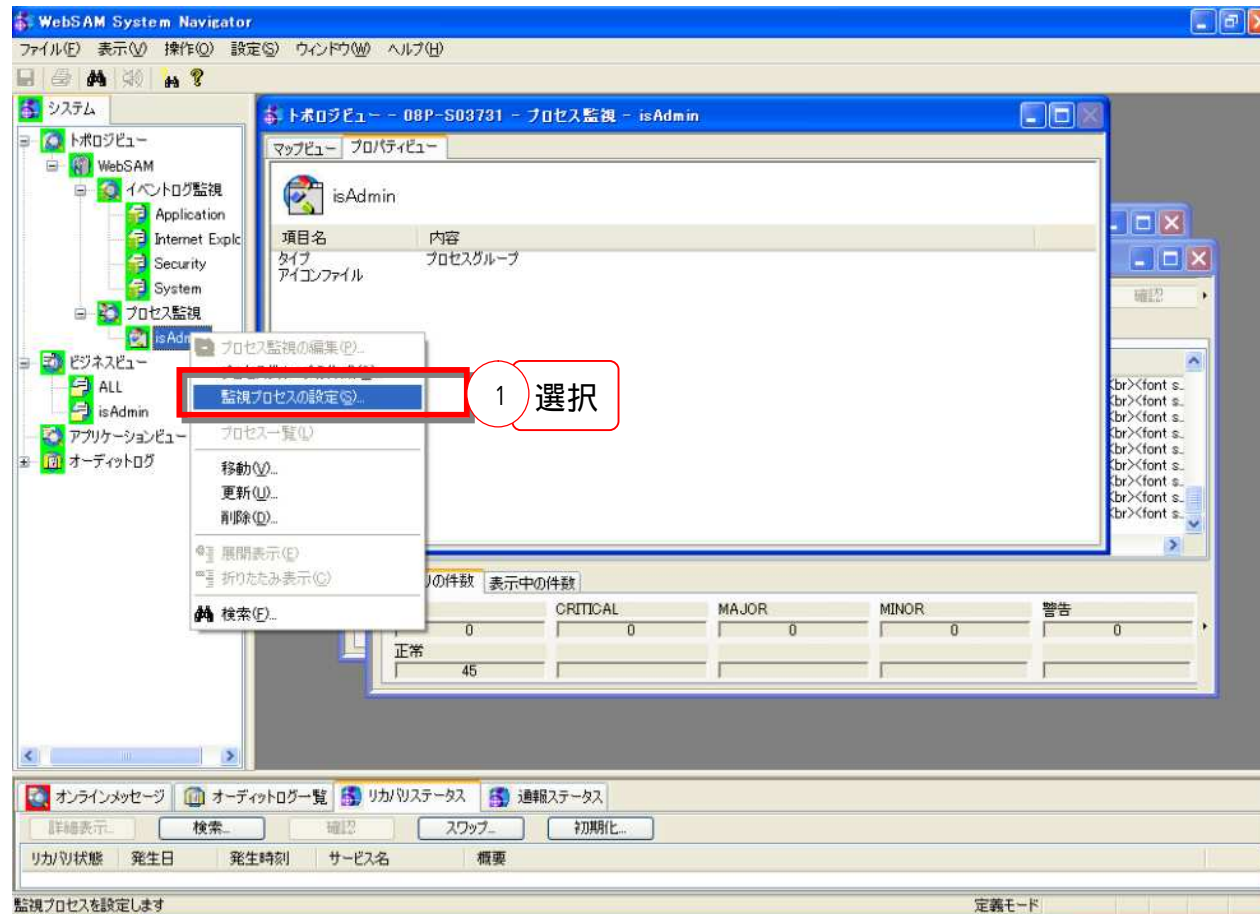
(参考). 2 プロセス監視

- 「新規グループ」画面が表示されるので、「グループ名」に「isAdmin」と入力し、「OK」を押下する。
(グループ名は任意の名前を入力することが可能です)



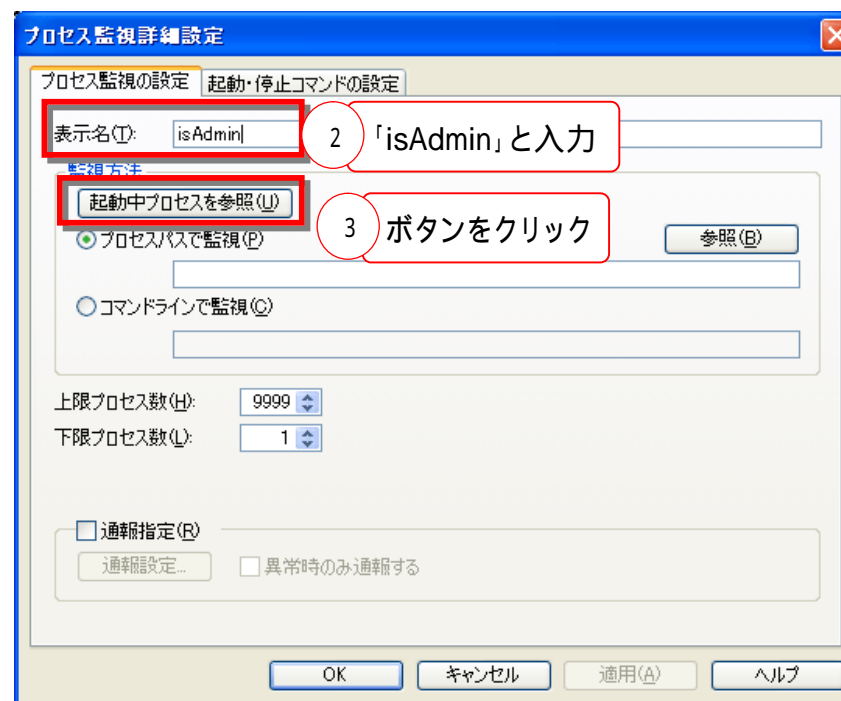
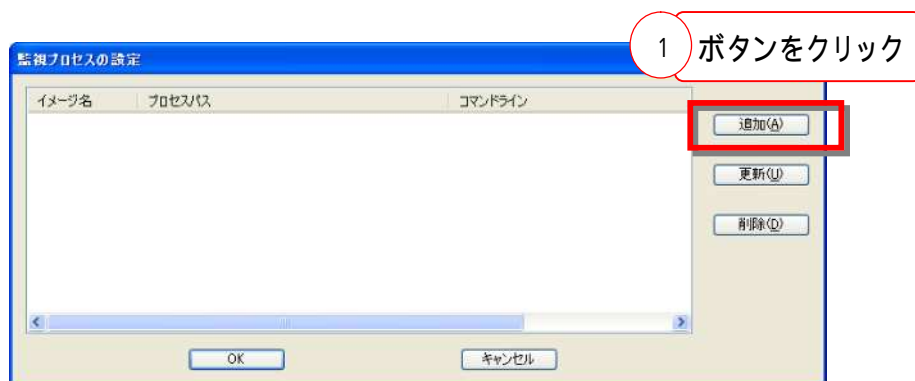
(参考). 3 プロセス監視

トポロジビューに「プロセス監視」のツリーが追加されるので、作成した「isAdmin」アイコンを選択し、右クリック。「監視プロセスの設定」を選択する。



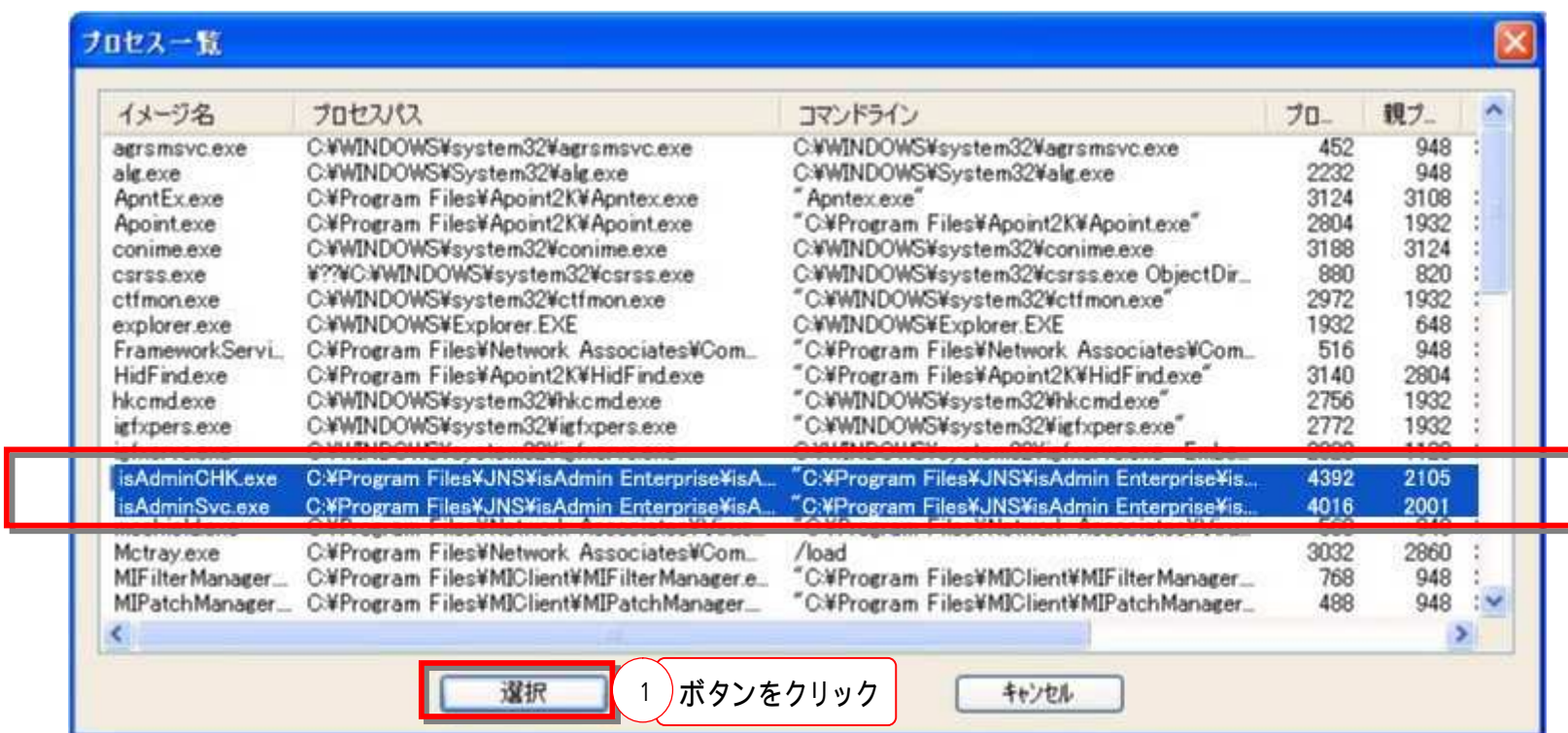
(参考) . 4 プロセス監視

- 「監視プロセスの設定」画面が表示されるので、「追加」を押下する。
- 「プロセス監視詳細設定」画面が表示されるので、「表示名」に「isAdmin」と入力し、「起動中プロセスを参照」を押下する。



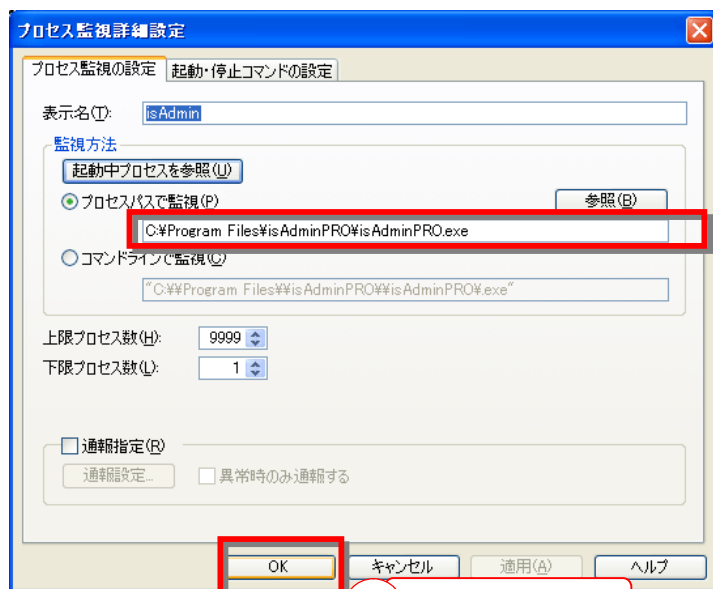
(参考). 5 プロセス監視

起動中の「プロセス一覧」画面が表示されるので、isAdmin Enterpriseのプロセス「isAdminCHK.exe」「isAdminSvc.exe」を選択し、「選択」を押下する。

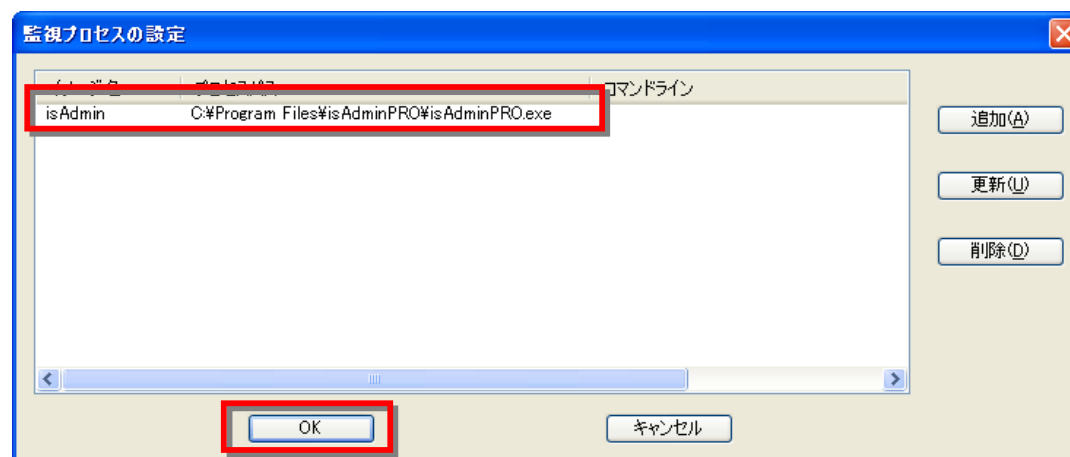


(参考). 6 プロセス監視

- 「プロセス監視詳細」画面に、選択したプロセスが表示されていることを確認し、「OK」を押下する。
- 「監視プロセスの設定」画面に、選択したプロセスが表示されていることを確認し、「OK」を押下する。



1 ボタンをクリック



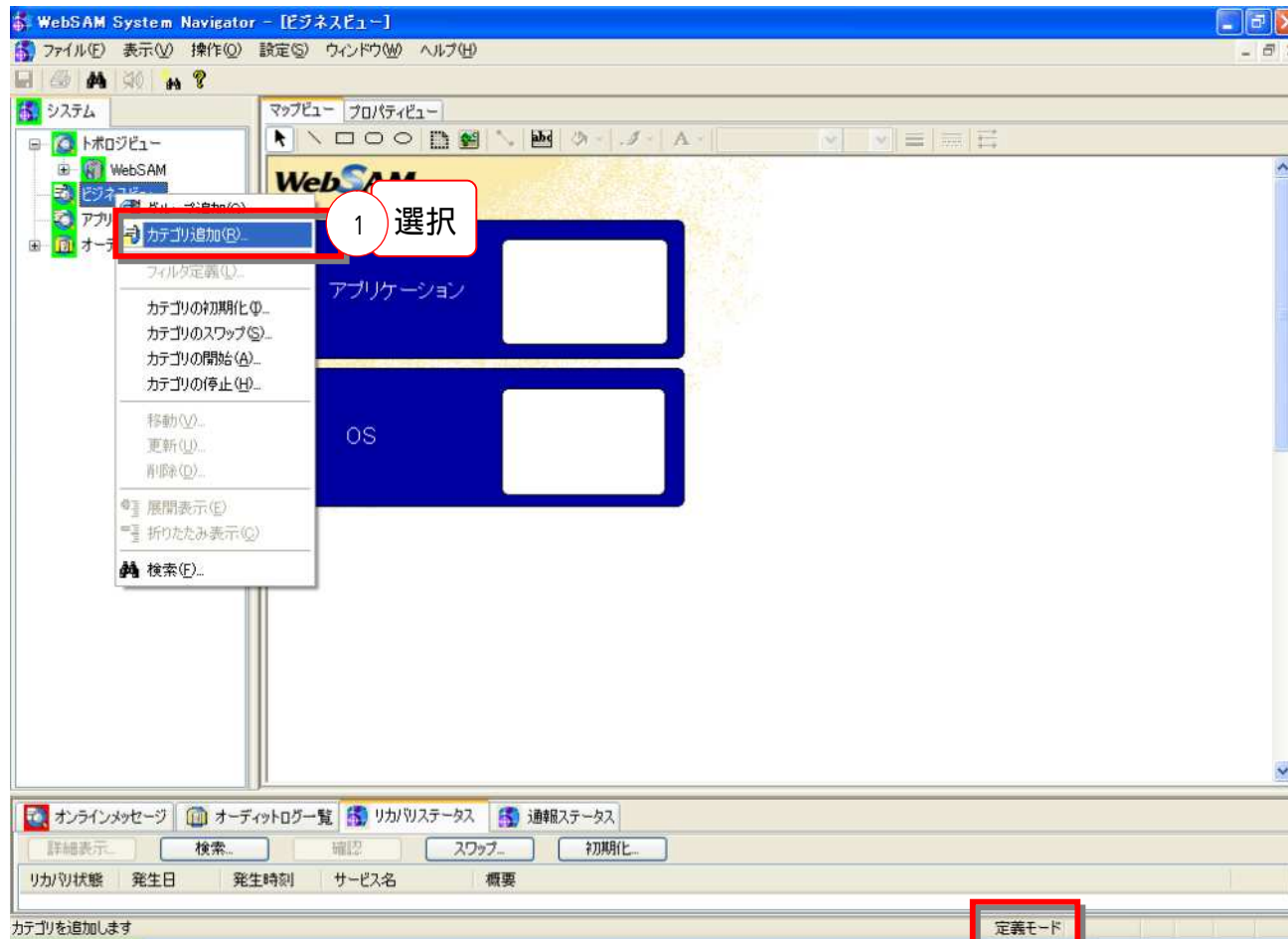
2 ボタンをクリック

5 . ビジネスビューの設定

WebSAM System Navigatorに、「isAdmin」で検知したエラーを表示させるための設定をします。「2 . ナレッジの格納」の手順にて格納したファイルをインポートすることにより設定完了です。

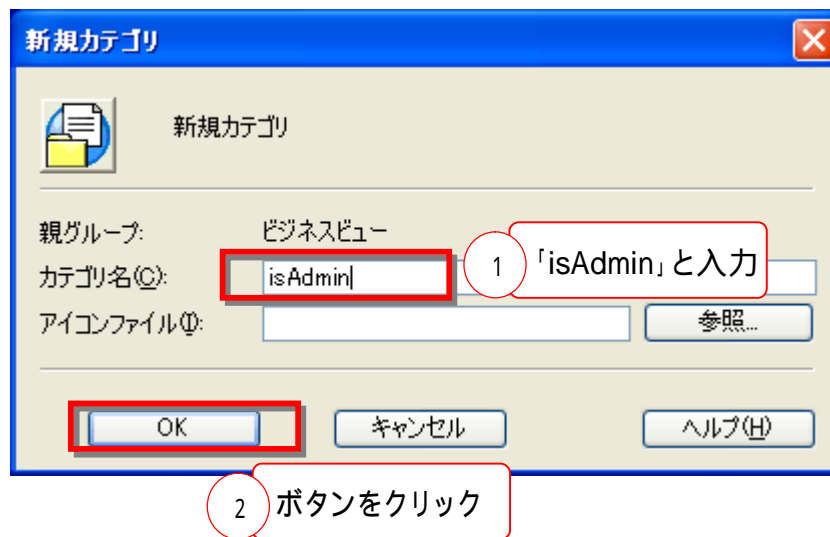
5.1 ビジネスビューの設定

定義モードの状態ですべて「ビジネスビュー」を右クリックし、「カテゴリ追加」を選択する。



5.2 ビジネスビューの設定

- 「新規カテゴリ」画面が表示されるので、「カテゴリ名」に「isAdmin」と入力し、「OK」を押下する。



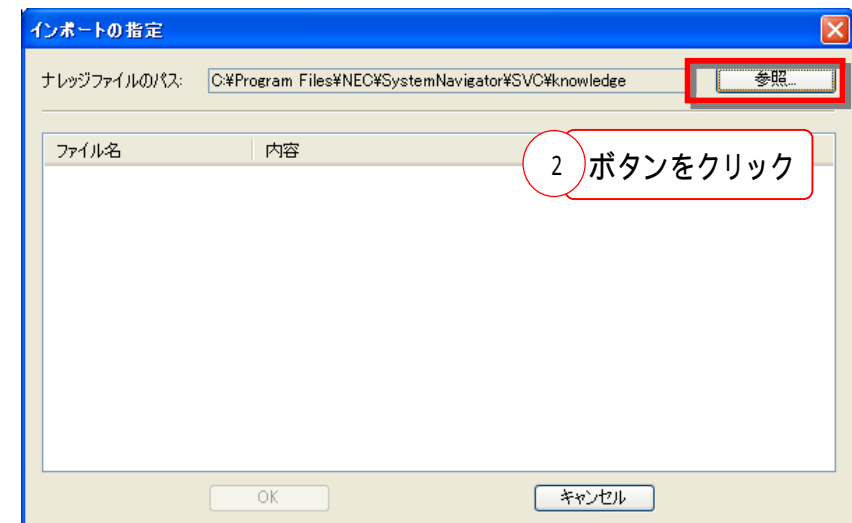
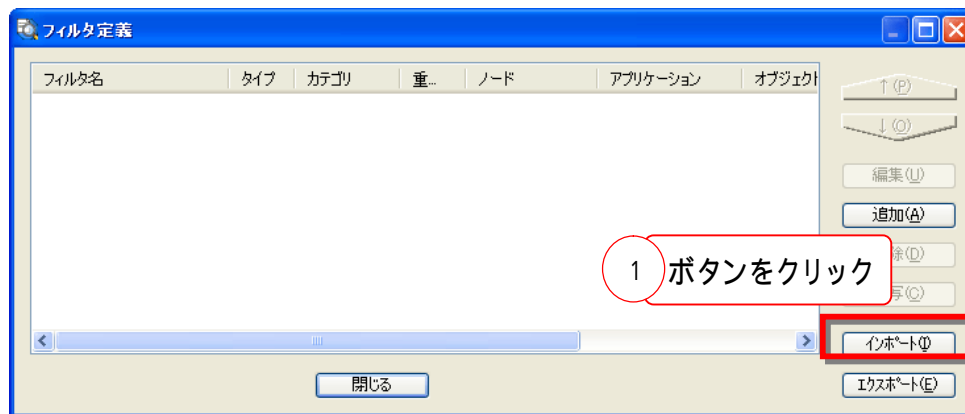
5.3 ビジネスビューの設定

作成した「isAdmin」カテゴリを選択し、右クリック。「フィルタ定義」を選択する。



5.4 ビジネスビューの設定

- 「フィルタ定義」画面が表示されるので、「インポート」を押下する。
- 「インポートの指定」画面が表示されるので、「参照」を押下する。

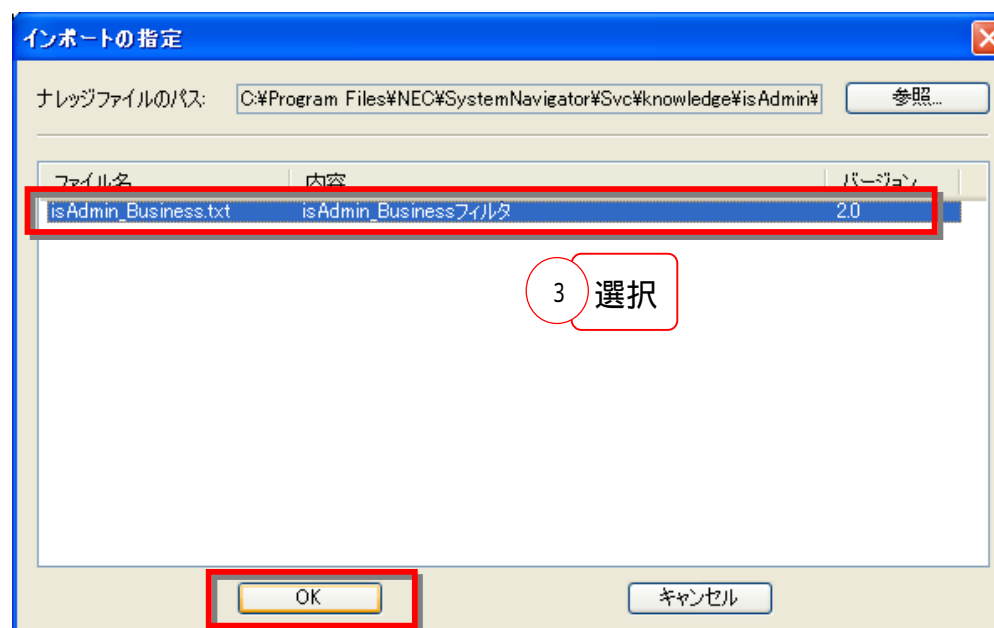
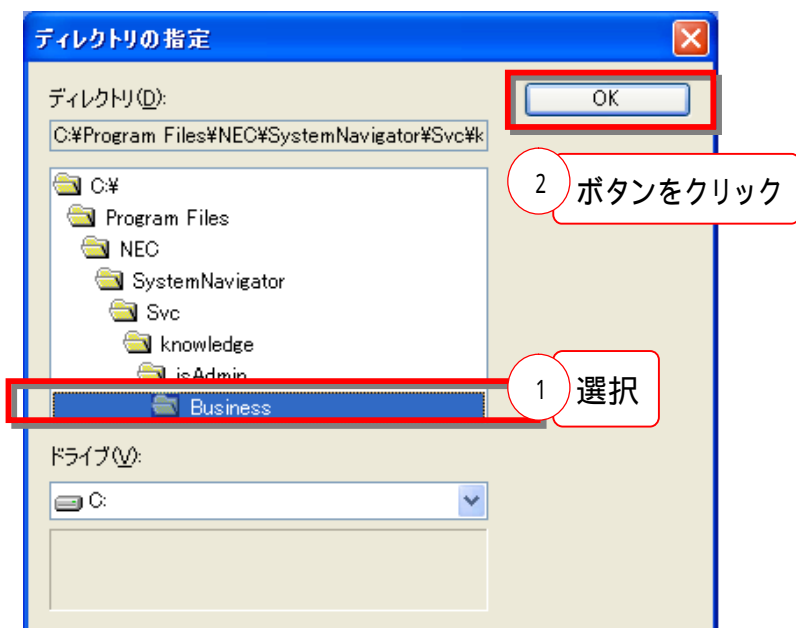


5.5 ビジネスビューの設定

「ディレクトリの指定」画面が表示されるので、「2. ナレッジの格納」で格納した先の、「Business」フォルダを選択し、「OK」を押下する。

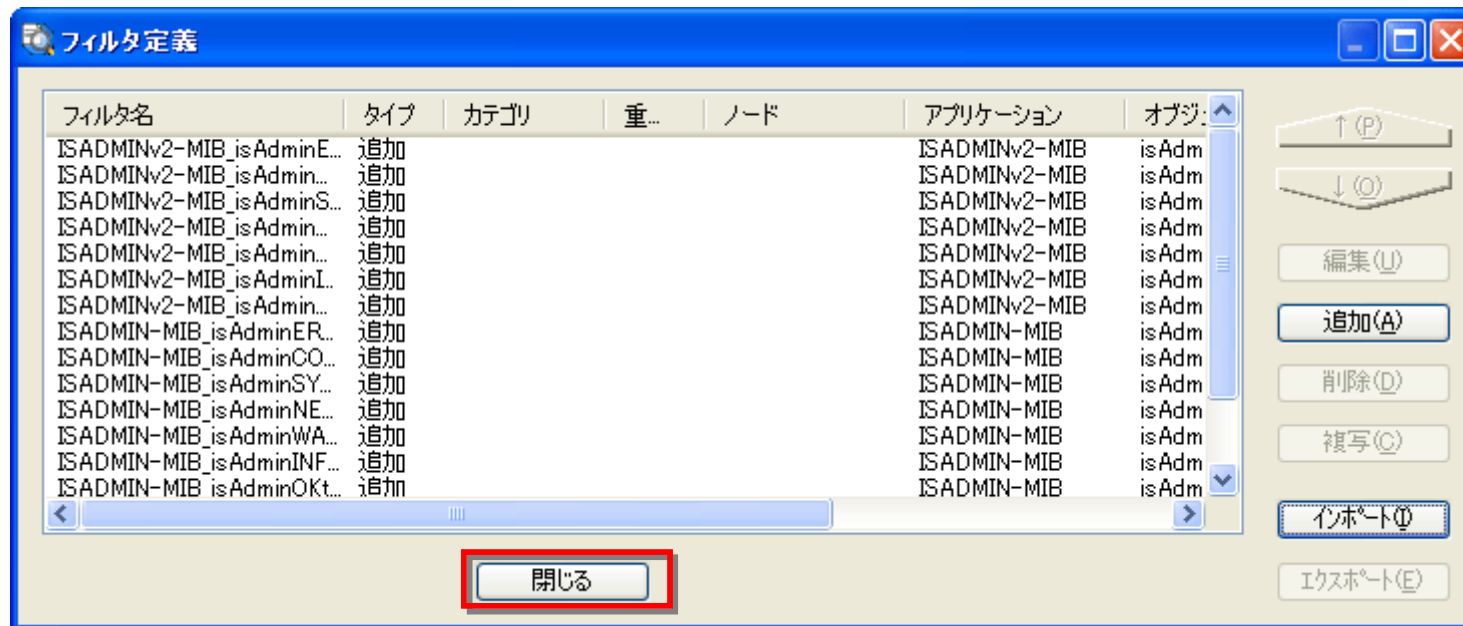
デフォルトの状態では、「C:\Program Files\NEC\SystemNavigator\Svc\knowledge\isAdmin\Business」

「インポートの指定」画面にテンプレートファイルが表示されているので、選択し「OK」を押下する。



5.6 ビジネスビューの設定

「フィルタ定義」画面にフィルタが定義されたことを確認し、「閉じる」を押下する。



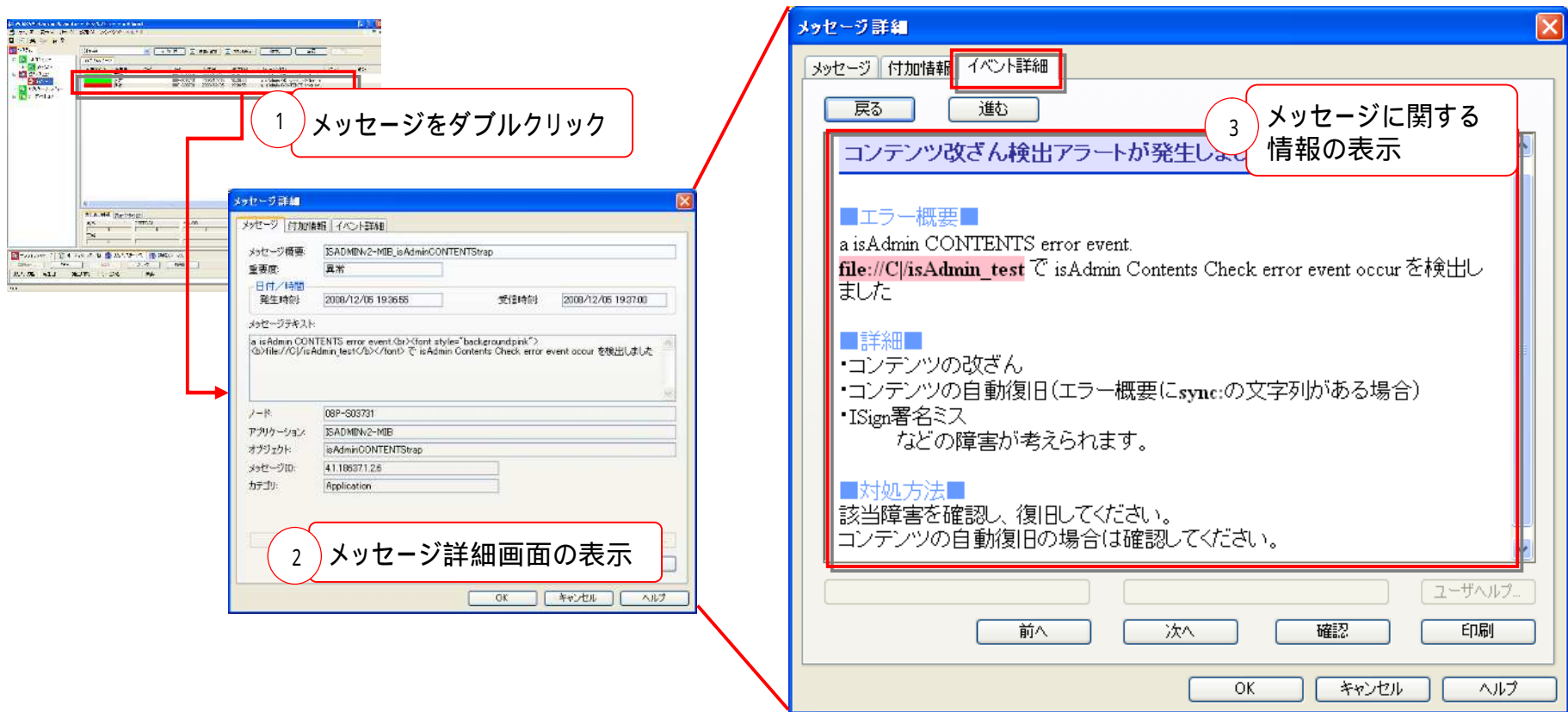
1 ボタンをクリック

6 . メッセージの表示

WebSAM System Navigatorに、「isAdmin」が検知したエラーメッセージを表示し、状況を把握するまでの手順について説明します。

6.1 メッセージの表示

- 出力されたメッセージをダブルクリックすると、「メッセージ詳細」画面が表示される。
- 表示された「メッセージ詳細」画面内の「エラー情報」タブを選択すると、メッセージに関する情報が表示される。



以上で、WebSAM System Navigator - JNS isAdmin の
SNMP Trap連携設定は完了となります。

Empowered by Innovation

NEC